

# 部落解放第46回全国高校生集会 部落解放第58回全国青年集会

昨年12月20日、21日にかけて全国から人、青年22人、事務局3人が参加し、第46回国青年集会が大阪商工会議所でひらかれた。

にかけて全国から628人が、和歌山県連から高校生13人が参加し、第46回全国高校生集会及び第58回全会議所でひらかれた。

和歌山県連から高校生13  
高校生集会及び第58回全

(参加対象..青年)、第7分科会「女性の青年部活動について」(参加対象..青年)、フィールドワーク「食品口語と社会福祉を考えるフードバンク」(参加対象..青年)

埼玉県連の菊地聰・書記局の案内で石川一雄さんが歩いた狭山市駅（旧入間川駅）や地元の神社で祭りがおこなわれていた場所、石

殺害現場とされている  
雑木林では、石川さんが被  
害者を強姦して押し倒し、  
手で首を絞めて殺害したと  
されているが、近くで農作



## 和歌山県連の報告をする山本亮輔・青年対策部員

いる差別事件や県内の青年を取り巻く現状」が報告した。全体会の最後に集会スローガン「ひろげよう仲間の輪」「深めよう仲間のきずな」を合言葉に、おこそうあらたな若者の創造」が提案・確認され全体集会が終了した。

つづいて、高校生・青年が各会場にわかれ、第1分科会「高校生だからできる部落解放運動」(参加対象…高校生)、第



### 熱心に聞き入る参加者

話し抜か残らない可能性が高く、記憶が曖昧だと信じよう性が疑われてしまう。被害者はトラウマと恥、罪悪感で心と精神に深い傷を負ってしまうということだが、自身のDV経験を含め語られた。

第2部では「性暴力被害の現状と課題、こらから私たちにできること」をテーマに、性暴力救援センターの必要性や地方公共団体が運営するセンターとして2項目となるわかやまmineの設立経緯や状況についてトーケセッションがおこなわれた。



差別を許さない共同体を強化するため、ともに学ぼうとあいさつする野口道彦・理事長



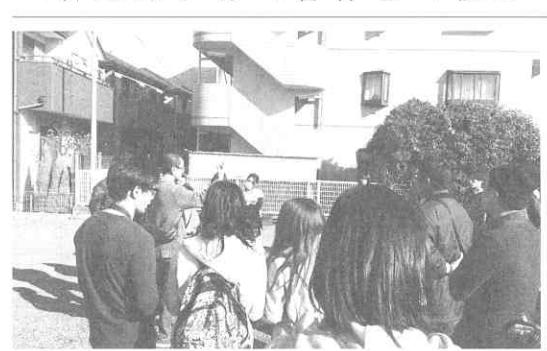
## 春駒保存会のメンバーによる門付け

方へハイテクヒーローが公然とおこなわれるなど、新自由主義が生み出した格差のしわ寄せをうける弱者が不安にかられ、マイノリティへの攻撃につながっている。という屈折した社会になります。私たちは、差別を許さない共同体をしっかりと築き、したたかに闘うため、ともに学んでいこう」とあいさつされた。

# 性暴力センター和歌山「わかやまmine」 設立1周年記念シンポジウム

## 第15回 和歌山・人権啓発研究集ひらかれる

かが秘密にされてしまうと  
いう物騒な社会になつてき  
ました。さらに、集団的自



### 現調の説明をきく参加者

年)、第5分科会「Caféしゃべり場」もつと知ろう解放運動のこと仲間のこと」(参加対象:青年)。

## 青年部で狭山・現調

狭山現地調査を11月23日、埼玉県狭山市でおこない、県連青年部・高校生ら30人が参加した。

多くの矛盾が説明された。  
最後に石川一雄さん、早  
智子さんを講師とした学習会を  
会で石川さんは、無実を訴  
え、現地調査及び学習会を